

大信寺からのお知らせ

平成21年11月23日

大信寺住職 岡田真幸
護持会会長 千金楽勝夫
護持会 役員一同

護持会役員会 会議報告

期 日 平成21年11月14日(土)午後3時～
議 題

1. 護持会会費納入の件
2. 今年度会計中間報告

議事

護持会会費納入の件

大信寺護持会会費の額の変更はなく、各地区役員を通じて会計まで12月20日までに納入することが決定されました。

今年度会計中間報告

平成21年1月21日から現在まで、

収入	繰越金	1,700,954
	貯金利息	1,097
	収入合計	1,702,051

支出	建物共済	82,326
	見舞金	15,000
	生花香典	48,500
	支出合計	145,826

現在の残高は1,556,225円です。

護持会費 境内整備費納入のお願い

邑楽町内は各地区役員が集金にお伺いしますので納入のほどお願い申し上げます。

町外の方は、12月15日までに
大信寺にご持参いただくか、または、銀行
振込、郵便振替をご利用下さい。

にわ ぜんきゅうさん新作タオル

昨年に引き続き、にわ ぜんきゅうさん画の新作タオルをお使いください。

ところで、ぜんきゅうさんとは、どんな人と尋ねられたことがあります。ホームページには次のよう
にあります。

石鳥&流木作家 にわ ぜんきゅう

愛知県、南知多町(内海)に生まれ、1991年

故郷に戻りアトリエを創設、創作活動に入る。

石の鳥や流木造形、砂絵などで知られる作品は、これまでテレビ・新聞・雑誌などに取り上げられ、学校や官庁・企業・団体等のポスター・カレンダーなどにも数多く採用されています。

南知多の豊かな自然の中から生み出されるこの作品には、素朴さと不思議なほどの温かみがあります。

と掲載されています。



行事のお知らせ

除夜の鐘 11時10分から突き始め

大信寺の鐘を皆さんで突き、煩惱を除き、清浄な心身で、新年を迎えましょう。

11時10分から突き始め、12時10分には108回になります。

上州邑楽七福神めぐり

大信寺には、七福神のうち布袋尊をお祀りしており、布袋の寺としても知られています。邑楽七福神めぐりで新春をスタートしてみませんか。

期日 1月 9日(土)
1月16日(土)
4月10日(土)

に開催されます。

シンボルタワーを出発し、町内2.3kmを歩きます。問合せは、鈴木隆行氏へ(電話:0276-88-4709)

墓地分譲中

境内の墓地を分譲しています。お知り合いの方にご紹介下さい。

区画 奥行2m 幅1.8m

永代使用料 50万円

基壇施工費 95万円

ネパール仏教遺跡巡礼紀行

2009年2月16日、お釈迦さまの生誕の地 ルンビニを訪れた折りに、そこから23km西方にあるカピラ城へも足を伸ばしました。ここは、お釈迦さまが29才で出家するまでをシャカ族の太子ゴータマ・シッダータとして何不自由なく過ごした城です。

現在は遺跡となっていてレンガ造りの基壇だけが往時の面影を留めています。

この城跡は東西400m、南北550mで西門、東門の跡などが発掘されていますが、これらは紀元前2世紀以降のもので、釈迦の時代である紀元前5世紀の遺跡は、更にその下にあるそうです。

しかし、出家する決意を固めたとされる四門出遊（しもんしゅつゆう）の話に思いをはせるには充分でありました。

四門出遊とは、次のような物語です。

釈迦が城にいたとき、城から遊びに出ようとした。東門から出たときには老人、南門では病人、西門では死者を見た。ところが、北門から出たときに出家者が歩いているのを見て、心を強く動かされ、出家を決意したといわれる。「生老病死」といった人間の本源的な苦悩の解決が出家の目的だったのである。



東門を西側から撮影



東門の外では、薪を運ぶ親子の姿。かつてここで、シッダータ王子が見たのは、腰が折れ曲がった醜い老人だった。



城跡から北へ200mほどの所にレンガ積みのストゥーパ(Jori Stupa)が二つ並んでいる。シッダータ太子の両親であるシュドーダナ王とマヤー夫人を火葬にした跡と伝えられている。



大信寺のホームページ

大信寺のホームページを作成しました。

<http://daishinji.net/>

または、「大信寺」で検索して下さい。

境内の花々、篠塚伊賀守、インド仏教遺跡巡礼、玄奘三蔵求法の旅を追って などの記事を掲載してあります。

